

事業所における自己評価結果(公表)【児童発達支援】

公表: 令和3年2月26日

事業所名: こどもの家すくすくしえんせんたー風のこどり

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	0	ロッカーなどは最小限にし、子ども達が動けるスペースを確保できていると思う。 子どもの人数に応じて、お部屋の使い方を工夫しています。棚で仕切りをつくったり、棚を横にどけて空間を広くしている。 遊びによってロッカーを動かして環境設定をしている。 人数が多い場合には、ロッカーを広げる、お集りの空間を広げるなどの工夫をしている。	利用定員未満の人数で、部屋の利用をしているので適切な人数でスペースを確保しながら、利用ができています。 遊びによって、ロッカーの位置を動かすなどの工夫をしています。見学者への配慮等もまだまだ行き届いていない所もありますので、注意していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	10	1	外部研修や面談などが重なった場合、人手不足になることもあるが、非常勤の先生にお願いする等工夫している。 子ども4人に対して1人つく形で職員は配置しているが、子どものタイプや支援の必要に応じて人数を配置するようにしています。 母子での活動の際にリーダーとして入ることが多いが、人数(子と大人の人数)が適した人数で子ども達を全体として見やすく、適切であるとサブとも話をしたりする。 子どもの様子によって、職員の人数を調整している。 子どもの人数に対してサブの職員を配置したり、フリーの職員も配置するなど人数に応じている。 リーダー・サブの子どもに付く位置や子どもの様子によって声を掛け合って動いている。	随時、適切な人員の配置で療育を行っています。 子どもたちの様子に合わせて、基準以上に職員を配置できているので、今後も丁寧な療育が行える様に、職員を配置していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	0	子どもたちが怪我をする事も少なく、ヒヤリハットを感じたことを対応に活かせるように全体で把握している。 エレベーターがあるため、必要なお子さまにも対応ができると思う。 今日の流れのボードを置いておく、時計に印を貼るなど見てわかりやすい環境を設定している。	子どもたちにわかりやすい、シンプルな構造を心掛けています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	0	イスや机、手すりの消毒をおこなっている。 毎日の掃除をしっかりと行って、きれいにしていると思う。 時々、棚の上に物が置いてあることがあるので気を付けたい。 活動に合わせて、プレイルームの広さを調整するようにしている。	清潔、消毒等は、特に今年度は、徹底しています。 整理整頓については、つい棚の上などへ置きっぱなしにしていることがあるので、注意していきたいと思っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	0	それぞれのグループごとに活動前に打ち合わせ、活動後に振り返りを行っている。 次の活動に向けての改善方法を話し合っている。	PDCAサイクルを念頭におきながら、日々の振り返りも行っていきます。 時間を決めて、メリハリのある充実した時間を持つ様にそれぞれの意識を変えていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	朝礼または職員会議で議題に上がり、内容や改善点について周知や検討がある。	評価表や日々のやりとりを通して改善できる所を職員同士で共有し、よりよい療育施設を目指していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0		年一回の振り返りを通して、自分たちの意識を上書きして、変えていきます。貴重な機会と思いつながり共有しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2		第三者による外部評価につきましては、準備を進めながら計画的に取り組んでいく予定です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	毎月テーマに沿っての園内研修を行っています。 法人研修、園内研修は幅広い知識を学ぶ良い時間だと感じる。	自主研修として、自分たちでテーマを決めて担当を中心に研修をすすめています。 コロナ禍の中で、なかなか外へ出向いての研修が、難しいところですが、自分たちで必要なスキルを学んでいこうと実践に活かせる内容で、今後も学習していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	それぞれの子どもに応じて検討しながら会議録を作成し、前回の振り返りを行い、発達検査の結果等もふまえて、作成している。	客観的に評価できていることで、偏った評価ではなく、子ども達の現状をしっかりと分析するよう心がけています。保護者や子どものニーズに配慮しながら適切な計画を提供できるよう努めて参ります。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	運動面、言語面、社会性、基本的な生活習慣などの項目を通し、こどもの現状を把握したり、今後に活かせるようにしている。	現在のアセスメントツールの普及と浸透性を深めつつ、より良いアセスメントツールへの改善を進めていきたいと思います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	定期的にあセスメントを実施し、本人に適した内容を選択できている。	本人支援及び、移行支援や家族支援、地域支援というところも十分配慮できるように努力していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	個々の児童発達支援計画に応じて活動内容などに取り入れている。	支援計画をもとに、支援を行っています。保護者の方にも内容を細かくお伝えしながら、支援していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	場合によってはリーダーのみが考えてしまっていることもあるが、サブやフリーなど周りの職員の意見も取り入れながら進めている。	前回の反省を生かしながら、活動の立案をたてています。グループに入る職員も固定して連携がとれるようにしています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	週ごとに遊びを組み立て、おたよりに掲載している。こどもの反応や様子を基に、遊びを展開したり、遊びを繰り返す中で、次のステップに進んだり、工夫している。子どもたちが活動に飽きないように、子どもたちの状態にあわせながら、職員同士で話をし、活動を決めている。	週ごとの遊びの組み立ての中で、つながりを持たせて、変えないところと、遊びを展開させて変えているところなど工夫しながら、流れをつくっている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	年長や年中児の支援計画を立てる際は、できるだけ偏りがないようにしている。個々に必要な活動を重点的に取り入れながら、組み合わせている。	支援内容についてはそれぞれの課題となることを中心に作成しているが、個別と集団のどちらかに偏ってしまうことがないように、注意していきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	その日のねらいやサブとしてどこまでさせたい、してほしい等の打ち合わせは行っている。子どもの活動に入っている職員同士で、時間を作り打ち合わせをして活動がスムーズに行えるようにしている。	その日の打ち合わせは丁寧に行い、なるべく見通しとあらゆるパターンをイメージしながら、対応できるように準備をしっかりと行いたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	気づいたことをその都度反省するようにしている。特に午前中は一番共有がしやすく、活動にも反映されやすい。その日の活動内で、改善点なども話しながら共有して次回の活動についても話をする。	午後の反省を次の日に持ち越さずにその日にできるように努めます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	記録をとった際に、気になったことはすぐに近くに入った職員がいれば言うようにしてその際にできるだけ改善策を話し合うようにしている。	記録をとることだけでなく、その情報を職員がしっかりと共有できるように、それぞれが発信したり、声をかけあったりすることを大切にしている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0		半年に一度は見直しを行っている。今後は子どもの状態に即した計画を立てているよう努めます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	様子を記入する書式があるため、担当が記入しています。担当者会議では、その子どもの担当が日々のこどもの様子を記入している。	担当やグループに入っている職員で情報を紙にまとめて、様子を共有できるようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0		親子教室や発達相談会へ職員を派遣し、連携をおこなっている所です。継続して、連携をとっていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	0	対象児がいらない為、未回答です。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	0	対象児がいらない為、未回答です。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	併行通園先からの見学を受け入れ、情報共有の場を作っています。	担当者会議等も通して、情報の共有を図っている所です。また、療育の場を卒業して、地域の幼稚園、保育園のみで、就学に向かっていく子どもさんへも移行支援シートを作成する等で対応しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	移行支援シートを作成している。情報交換の場に参加したり、お伝えする機会を設けたりしている。例年、公開療育の場にも就学先の先生方をお呼びして、情報共有の場を作っている。	小学校への引継ぎは、移行支援シートや会を設ける等で対応しています。継続して、とぎれることがない様に引継ぎをおこなっていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	公開療育や研修などに参加している。	コロナ禍の中で難しいところはありますが、公開療育の参加や研修への参加を通して、研修を受けています。自己研鑽に努めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	風のことりではそういったことは特にないが、ほとんどの子が幼稚園や保育園等の併行通園先があるため、交流をもっている。	併行通園している方が、こりに通われている方全体の7割を超えている状況です。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1		代表者が参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	併行通園で直接会えない保護者の方には連絡帳で様子を伝えている。連絡帳を活用しながら、困り感や悩みなどを聞き、助言や支援の方法などを一緒に考えている。	保護者の送迎、親子登園のお子さんに関しては直接お話をさせていただきながら、情報を共有している所です。分離のお子さんに関しては、連絡帳のやりとりやモニタリング、支援計画等の面談を通して、子どもの発達の状況等も、共有している所です。直接顔を合わせてお話しが中々できない保護者の方にも安心して、通って頂けるように、様子を丁寧に伝えていけるようにします。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	4	毎月、母親教室がある。	毎月定期的に母親教室を実施しています。教室の中では保護者の子育て相談をはじめ、学びたい内容を聞き取りながら学習会なども行っております。今後充実した内容の取り組みが実施できるように準備を進めてまいりたいと思います。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0		施設の運営規定や利用者負担等につきまして、見学又は契約時にご説明をさせていただいております。引き続き、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	支援計画を立てる上で、計画に偏りがないように気をつけるようにし、計画を立てた文章だけではなく、日々の様子も重ねて伝えるようにすることで、子どもが感じている難しさやこれからの課題を出来るだけ伝えるようにしている。	支援計画の同意と説明は行っており、その時にガイドラインのねらい等をお話しさせていただいております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	母親教室や支援計画をお渡しする際に合わせて面談を行い、対応している。保護者から相談したいことがあると言われた時には相談に応じるようにしている。	担当や児童発達支援管理責任者が面談を適宜行っています。必要な時には、心理士や保健師さんへつなげたり、相談支援とも話をしたりしています。定期的という面では足りなさもあるかと思いますが、必要なところは適宜、対応させていただいております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	毎月、母親教室を行っています。母親教室で、保護者同士話をする事が出来、それによって思いや悩みを共感しあったりできている。	保護者会等はありませんが、子ども達へのクリスマスプレゼントを毎年、保護者と職員の手作りで製作をしています。プレゼントをつくりながら、ゆっくり話をしたり、子どものことを相談しあったりする機会になっています。クリスマスシーズンだけでなく、このような機会を作っていきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	保護者からの相談申し入れがあった場合には、職員同士で話し合ったり、職員にも周知するなどして対応を心掛けている。	各相談や申し入れにつきましては、主任を窓口とし、施設・法人全体で共有できる体制を整備しております。今後も迅速かつ適切に対応できるよう、体制の整備に努めてまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	毎月、園だよりを発行している。	法人ホームページにて、各種おたよりやお知らせを配信しております。ブログの更新が不定期になっていきますので、こまめな更新を心掛けたいと思っております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	0	個人の記録等は鍵のかかる場所に保管しています。	利用児や保護者の方々安心してご利用いただけるよう、様々な記録や個人情報をシステム上で厳重に管理しております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0		保護者の皆様との連携(情報交換・意思疎通)を強化するために、面談や近況の聞き取りをはじめ、毎月の「おたより」や「自分ページ」等、ICTを用いた連携ツールを整備しております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	公開療育を開催しています。地域住民の方の招待はできていません。	事業の特性上、個人情報の取り扱いを厳しく行っているため、一般の地域住民の方々に施設を開放する機会はありません。地域にある施設として、事業内容や活動内容を知っていただけるよう努めております。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	0	毎月、地震、火災、噴火等の事態を想定して、避難訓練を行っている。マニュアルがあることで、保護者に伝える際に伝えやすさを感じ、職員同士の共通理解もしやすさを感じる。職員向けの防犯訓練なども実施している。	防災訓練等も行ってはいますが、マニュアル等を保護者まで周知できていないところもあります。訓練の際には、マニュアルを見直しながら、保護者にも周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	毎月、実際の避難を想定した避難訓練を行い、子どもたちだけでなく、職員の動きも確認できるようにしている。	災害の種類についても検討し、それぞれの災害に応じた避難場所や移動方法を、子どもたちと一緒に確認しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	最初に記入していただく生育歴に記入できるようになっています。子どもの状況を把握して、職員間、保護者の方とも共有している。	利用契約時に必ず生育歴や病歴等の聴き取りを徹底しています。聴き取りをした内容については、保護者と緊急時の対応等を検討・共有した上で記録を残し、職員に周知しております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0		契約時にアレルギーの確認を行い、除去食の提供が必要な場合には、栄養士や調理員の方々と連携を取りながら、安心・安全な給食を提供できるよう努めてまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	ノートに記しています。	事例があがった時には、対応までを朝礼等を通して、全体へ周知しています。引き続き、大きな事故につながるようなことがないように気をつけていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	年に1回は職員全員対象で、研修を行っている。	法人内には虐待防止委員会が設置されており、職員や保護者に向けた虐待防止の啓発活動に適宜取り組んでおります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0		身体拘束を行うことはありませんが、研修を通してきちんと理解していくことに努めてまいります。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。